

春になると書店には桜の本のコーナーがで、私鉄は桜の行楽を宣伝する。桜は人々に最も身近な花であり、花見は心躍る楽しみである。桜と人々とのかわりの歴史を振り返りたい。

京都の桜の名所には、近世から名所図会などに登場する所と、近代になって新たに植樹された所がある。前者には嵐山、仁和寺(御室)、平野神社、花の寺(勝持寺)、向日神社など、後者には植物園、賀茂川堤防沿い、岡崎公園、洛西ニュータウン小畑川沿いなどがある。

近代に名所となった所

文化

近代が変えた桜の景観

歌、由緒の世界から国の象徴へ 高木 博志

にはソメイヨシノが植えられている。ソメイヨシノは、葉と花が萌え出る山桜と違って、花だけが枯れ木に咲き豪華である。幕末に江戸近郊の染井村で、オオシマザクラとエドヒガンザクラを掛けあわせて創りだされた品種といわれる。実生から育つ山桜と違って、接ぎ木で増え、根づく率が桁違いによく、数年で成長し花が咲く。

ソメイヨシノが植えられている堤防、城跡、公園、小学校、またかつての軍隊の施設などは、二十世紀につくりだされた景観である。たとえば日

本を代表する桜の名所としての弘前城は、日清戦争の勝利を記念し、旧土族の内山寛弥がソメイヨシノを百本植えたのがはじまりである。近世までの弘前城は松の海に浮かぶ天守閣であった。前近

代は貴族的で女性的なものであり、武士の闘いの場である城郭には常緑の松がふさわしかった。遠山の金さんがドラマで、桜吹雪のもろ肌をみせて見得を切るが、あの男性的な桜イメージは二十世紀のもので、近世ならお笑いものであった

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。



たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。



『拾遺都名所図会』に西行の歌とともに描かれた西行桜

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。

たかぎ・ひろし氏 1959年大阪府生まれ。立命館大学大学院博士課程修了。著書に『近代天皇制の文化的研究』など。